



# 研修センター通信

vol. 150-5  
2024/3/31  
発行: 教育研修センター

## 「藤枝での2年間の初期研修を振り返って」

### 研修医代表の挨拶(初期研修医修了式より)

2年前の春、期待と不安でいっぱい、研修医として初めて病院に行った日を今でも鮮明に覚えています。

大学5年になるときにコロナ禍が始まった我々の代は、制限が一番厳しいなかでの病院実習しか経験しておらず、後にも先にも最も病院での経験が少ないなかでの入職であったと思います。そして入職直後もコロナ禍まただなかで、マスクを外せる機会も少なく、まだ出会って間もなく人柄もわからない同期や指導医の先生方のマスクの下の表情を必死に想像しながらの日々でした。4月に1つ上の先輩方を見て、自分たちが1年後にあの働きぶり、頼れる先輩になれる気がせず、毎日不安でした。自分の頼りなく不安な表情が患者さんまでも不安にさせていることを感じながらもどうすることもできない葛藤もありました。病棟で指示出しを頼まれるのではないかと看護師さんに声をかけられないように祈りながらカルテを書き、当直の日は、午後から不安で暗い気分になり、夜をとてつもなく長く感じていました。しかし、いつのまにか経験を積んでいくなかでそういった不安も感じなくなり、患者さんに対しても少しは医者らしい言葉かけをできる自分に嬉しくなっていました。少しずついろいろなことを任せいただける場面が増え、医師という仕事にやりがいを感じられるようになり、日々成長できる機会を楽しみ仕事に取り組むことができるようになっていました。

これらは一重に、指導医の先生方やコメディカルの方々、教育研修センターの皆様が、僕たちを常に気にかけていただいていたおかげです。指導医の先生方は、直接的な指導ももちろんですが、「将来こうなりたい」と思える先生方が多く、そう思える先生方にたくさん出会えて学べたこと本当にありがたいことだと感じます。

2年間で振り返って、うまくいったこともありました。さきに頭に思い浮かぶのはうまくできなかった場面や症例ばかりです。いまだにふとそういったことを思い出すことがあります。しかし、そういった症例で学んだことはおそらく今後一生忘れることはなく、同じ失敗を繰り返すことはないと思います。「失敗は成功のもと」と言われますが、医療の現場ではそれが許されないこともあります。しかし、上級医の先生方が見守ってくださる中でたくさんの失敗をでき、大事に至らずにただ転ぶだけで済み、次に生かすことができました。そんな研修を実現してくれた藤枝で最初の研修をできたことは本当にありがたいことだと感じます。

今は振り返って失敗も次への糧になると思うことができますが、直後は落ち込むこともありましたが、それでも研修医室に戻れば同期や松田さんがいて、久保田先生、東先生、松浦先生も通りがかってお話をしてくださり、そういった帰る場所があったからこそ、2年間を乗り越えられました。

病院見学に来たときに「藤枝は雰囲気がいい」ということを一番にアピールしてもらったことをよく覚えています。実際に藤枝に来て、その言葉は間違っていなかったところか、その言葉だけでは伝えきれないものであったと思いました。

素敵な同期に出会えたことがこの2年間の一番の財産です。それぞれ尊敬できる箇所があり、教え合いながらともに成長することができました。そして、プライベートでも多くの時間を一緒に過ごし、病院であったつらいことも話してまた明日から頑張ろうと思うことができました。

今後、専門に進んで、年次を重ねるに連れて、同じ立場の同期はどんどん減っていき、一緒に仕事をしたり会ったりすることは少なくなってくるでしょう。藤枝でこうした同期に出会って医師としてのスタートと一緒に切り、一緒に研修を乗り越えることができたと感じます。これだけの濃密な時間を一緒に過ごした同期なので、みなそれぞれの進路での活躍を願い、今後もまた集まって刺激をもらいつつ思い出話ができたらいいなと思います。そして、今後も藤枝の研修医でこのいい雰囲気が引き継がれることを願っています。本当に楽しく充実した2年間でした。

しかし、この2年間の真価が問われるのはこれから先だと思っています。1年後、5年後、もしくは10年後に振り返って、藤枝で築いた医師としての礎がたしかであったことがわかるように、これからの医師人生を歩んでいきたいと思っています。

僕自身は小児外科を目指すので、この病院に直接貢献して恩返しをすることは難しいかもしれませんが、できたとしてもずっと先のことになると思います。ですので、藤枝で研修を終えた者として立派に働くことが、まわりまわって何らかの形で藤枝への恩返しになると考えております。まだしばらくはそんなことを考える余裕もないと思いますが、ふと藤枝のことを思い出す場面で、初心にかえって頑張れたらなと思います。

いつも提出物を遅れて提出して松田さんを困らせていた僕が前もってこの代表の言葉を準備できるはずもなく、今朝になってようやく話すことを考え始めましたので、言い残したこと、言い足りないことはたくさんあると思いますが、また思い出したら同期に会ったり、藤枝の研修医室に戻ってきたりして話したいなと思います。藤枝の研修医室はこれからも我々の帰る場所であり続ける気がします。次に会うときには成長して姿を見られるように、藤枝で学んだことを忘れず、思い出を胸に日々頑張っていきます。2年間お世話になりました。ありがとうございました。

2年次 佐藤 秀

初期研修終了おめでとうございます。  
また藤枝に遊びに来てくださいね！

